

いつも当センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。
本日は「さんぼ山形メールマガジン」第203号をお届けいたします。



◇◇研修会・セミナー等のご案内◇◇

当センターホームページに「研修日カレンダー」（募集予定も含む）を掲載しております。
こちらからご確認ください。

<https://www.yamagatas.johas.go.jp/news/%e3%80%8c%e7%a0%94%e4%bf%ae%e6%97%a5%e3%82%ab%e3%83%ac%e3%83%b3%e3%83%80%e3%83%bc%>

○【事業所向け】【第174回産業メンタルヘルス研修会】（Web研修会）

「ストレスの気づきや対処が苦手な人々へ過剰適応、アレキシサイミアなど～」

日 時 令和6年8月8日（木） 14:00～16:00

※山形産業保健総合支援センターから「Zoom」を用いて発信します。

研修対象者 人事労務担当者、保健師・看護師・衛生管理者等の産業保健に関わる方

講 師 山形産業保健総合支援センター 産業保健相談員（メンタルヘルス）

東谷心療内科院長 東谷 慶昭 氏

定 員 40名（先着）

【研修のねらい】

最近外来診療をしていて、患者さんに「あなたは過剰適応の傾向がありますね」とお伝えすることが増えています。

仕事があわない、上司と合わないという不適応と異なり、仕事はちゃんと真面目にこなし、周囲との折り合いも問題がないように見えるのに疲れてしまいます。仕事を頼まれると断れない方が多くみられます。

そのほかストレスを自覚しないままに職場で頭痛や腹痛、下痢などが出る心身症のケースなどご紹介いたします。

【研修内容】

- 1 過剰適応について
- 2 心身症とアレキシサイミア
- 3 ストレスに気づかないケースへの対応
- 4 何をするかは裏側は「何をしないか」

※本研修会は、上記の内容に加え、厚生労働省から委託を受けた業者による「勤務間インターバル」の説明を15分程度含みます。あらかじめご了承ください。

詳細・お申し込みはこちらから

<https://www.yamagatas.johas.go.jp/workshop/%e3%80%90web%e7%a0%94%e4%bf%ae%e4%bc%9a%e3%80%91%e4%bb%a4%e5%92%8c%e5%b9%b48%e6>

★産業メンタルヘルス研修会は、毎月第二木曜日に開催しております。当センターホームページ「研修日カレンダー」から詳細をご確認の上、是非ご参加ください！

○【事業所向け】「メンタルヘルス対策の進め方」研修会

日 時 令和6年8月30日（金） 14:00～16:00

会 場 山形ビックウイング 4階 401研修室

研修対象者 人事労務担当者、保健師・看護師・衛生管理者等の産業保健に関わる方

講 師 山形産業保健総合支援センター 産業保健相談員（カウンセリング）

梅津 則雄 氏

定 員 30名（先着）

【研修のねらい】

現下のメンタルヘルス概況を知っていただいた上で、メンタルヘルスクエアの具体的な進め方について「こころの健康づくり計画」を中心に研修します。

【研修内容】

- 1 労働衛生調査からみるメンタルヘルスの概況
- 2 「心の健康づくり」を策定することにより、メンタルヘルス対策を進めることが容易になるか

※本研修会は、上記の内容に加え、厚生労働省から委託を受けた業者による「勤務間インターバル」の説明を15分程度含みます。あらかじめご了承ください。

詳細・お申し込みはこちらから

<https://www.yamagatas.johas.go.jp/workshop/%e3%80%90%e9%9b%86%e4%bc%9a%e5%bd%a2%e5%bc%8f%e3%80%91%e4%bb%a4%e5%92%8c%e5%b9%9>

○【産業保健スタッフ向け】【Web研修会】「女性の健康課題改善のための研修」

～職場における女性の健康課題への対応について話し合ってみましょう～

日 時 令和6年10月9日（水） 13:30～14:30

会 場 山形産業保健総合支援センターWeb会議システム『Zoom』

研修対象者 保健師、看護職等の産業保健スタッフの方

講 師 山形産業保健総合支援センター 産業保健専門職 渋谷 伊世

定 員 20名（先着）

【研修のねらい】

女性にはライフステージによって様々な健康問題があり、うまく付き合っていくことが大切になりますが、職場での対応、配慮で悩むこともあるかと思えます。

女性の健康問題についての課題や取り組みについて意見交換をしながら、女性の活躍を支える職場づくりについて考えてみましょう。また、男性の更年期障害などへの対応・配慮も検討して、より働きやすい職場づくりにつなげましょう。

【研修内容】

※参加者の事前の事例、情報提供をもとにした研修です。

- ・女性特有の健康問題・健康課題についてスライド・動画研修
- ・女性特有の健康問題への対応・配慮で工夫していることの共有
- ・女性特有の健康問題への対応・配慮の課題の共有
- ・男性の更年期障害などへの対応・配慮の共有

詳細・お申し込みはこちらから

<https://www.yamagatas.johas.go.jp/workshop/%e3%80%90web%e7%a0%94%e4%bf%ae%e4%bc%9a%e3%80%91%e4%bb%a4%e5%92%8c%e5%b9%b410%e>

※当センターのWeb研修会について

- ・オンライン会議システム「Zoom」を使用します。研修会への参加自体は、ブラウザからのアクセスも可能ですが、アプリケーションソフト「Zoom」をダウンロードしてのご参加をお勧めします。アプリケーションソフトのインストールの可否については、状況に応じ社内システム管理者様にご確認の上、ご対応ください。
- ・研修会当日、音が出ない・画像が映らない等の不具合がありましたら、お手数ですが当センターまでご連絡ください。
- ・参加申し込みは当センターホームページの専用フォームからお願いします。受講申込みの方には、研修開催前の1週間前後を目処に招待メールをお送りいたします。開催日3日前でも届かない場合やご不明な点がありましたら、お手数ですが当センターまでご連絡ください（事業場内での招待メールの転送はご遠慮ください）。
- ・カメラ・マイクなしのパソコンでも参加可能です。同一機関から複数名ご参加される場合は、一人ずつ別々にログインしていただくようお願いいたします。
- ・やむを得ず欠席される場合は、当日でも結構ですので当センターまでメールもしくは電話にてご連絡ください。

～まもなく参加申込み受付開始予定の研修会～

【医師向け】産業医研修会（ケーススタディ）（鶴岡市）

日時 令和6年9月19日（木） 18：30～20：30
会場 鶴岡市産業振興センターマリカ東館3階第一研修室
研修対象者 産業医
講師 独立行政法人労働者健康安全機構 長崎労災病院
アスベスト疾患ブロックセンター長・健康診断部長 吉田 俊明 医師
定員 40名（先着順）

【研修（基礎研修）内容】

- ・厚生労働省通達「石綿による疾病の認定基準について」（平成24年3月29日付け基発第0329第2号）に関する説明、職場における石綿ばく露の形態の具体例、石綿に関する一般的知識、労災補償制度、石綿関連疾患の病態、診断及び臨床について
- ・質疑応答

【取得単位数】 生涯研修 専門2.0単位（申請中）

※8月1日（木）以降、当センターホームページ「研修のご案内」からご確認ください。
<https://www.yamagatas.johas.go.jp/workshop/>

☆☆

◇◇他機関主催のセミナーのご案内◇◇

○令和6年度就労セミナー ～療養と就労の両立を考える～（山形県委託事業）

日時 令和6年8月1日（木） 13:30～15:30
会場 伝国の杜置賜文化ホール 大会議室（米沢市丸の内一丁目2番1号）
内容 難病を持ちながら就労している方への関係機関（ハローワークやまがた、山形産業保健総合支援センター）の就労支援の取り組みや事例発表、当事者の話等
定員 35名（先着順）
申込み、お問い合わせは、「山形県難病相談支援センター」までどうぞ。
電話・FAX 023-631-6061
メール : nanbyou-y@ebony.plala.or.jp

☆☆

◇◇トピックス◇◇

◆腰痛・転落・転倒 理学療法士が産業分野を支えます（一般社団法人山形県理学療法士会）
リーフレットはこちら。
<https://www.yamagatas.johas.go.jp/information/>

◆ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンの接種を逃した方へ～キャッチアップ接種のご案内～
次の2つを満たす方は、令和4（2022）年4月～令和7（2025）年3月の3年間、
公費で接種可能です。
・平成9年度生まれ～平成19年度生まれ（誕生日が1997年4月2日～2008年4月1日）の女性
・過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない
詳しくはこちらから。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_catch-up-vaccination.html

◆熱中症予防対策 ～暑さが一層厳しくなってきました～
職場における熱中症予防情報（熱中症ポータルサイト）はこちら。
<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>
熱中症予防のための情報・資料サイトはこちらから。
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/index.html
令和5年職場における熱中症の発生状況（確定値）はこちらから。
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_40473.html

◆労災疾病等医学研究普及サイトのご紹介
労働者健康安全機構では、労働災害の発生状況や行政のニーズを踏まえ、労災補償政策
上重要なテーマや新しい政策課題について時宜に応じた研究に取り組んでいます。
<https://www.research.johas.go.jp/index.html>
「第17回じん肺診断技術研修」についてはこちらから。
<https://www.research.johas.go.jp/jinpaikenshu/>
※日本医師会認定産業医制度認定単位 生涯研修9.5単位が取得可能です。

◆山形労働局からのお知らせ
○令和6年 山形県内における労働災害発生状況・死亡災害一覧（令和6年6月末現在）
詳しくは当センターホームページからご確認ください。
<https://www.yamagatas.johas.go.jp/news/%e3%80%8c%e3%82%84%e3%81%be%e3%81%8c%e3%81%9f%e3%82%bc%e3%83%ad%e7%81%bd%e9%81%8b%8c>

◆厚生労働省からのお知らせ
○令和5年度「過労死等の労災補償状況」の公表について
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_40975.html
○第1回化学物質管理協調月間のスローガンの募集について
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_40963.html

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

◇◇治療と仕事の両立支援について◇◇
山形産業保健総合支援センターにおける支援
通院等の治療が必要な疾病を抱える労働者が業務によって疾病を悪化しないよう、ま
た、治療と仕事の両立のために必要となる一定の就業上の措置や治療に対する配慮を事
業者が行うことは、労働者の健康確保対策等として位置づけられており、現在、治療と
仕事を両立できる職場環境が必要となっています。
山形産業保健総合支援センターでは、治療を続けながら安心して働くことができる職
場づくりを無料で支援しております。お気軽にお問い合わせください。
<https://www.yamagatas.johas.go.jp/compatibility/>

次号のメールマガジンは8月26日頃に配信予定です。

（編集人 副所長 石塚）

◆当センターが開催する研修会・セミナー等（集会形式）の受講について
（研修会等に参加ご希望の方は必ずお読みください。） 【令和6年6月25日現在】
山形産業保健総合支援センターが開催する研修会・セミナー等（以下、「研修会等」と
記す。）におきまして、受講の申込みをされる方は、以下の事項を必ず確認のうえ、研修
会等にご参加ください。事前申込厳守です。
○講習の開催について
現時点では、予定している研修会等は感染防止について下記の措置（※1）を講じた上
で実施いたします。
但し、情勢に変化があったときは検討後、研修会等を中止または延期する場合があります
ので、あらかじめご了承ください。
（※1）当センターで講じる措置
○座席は指定席とし、最低限人と人が接触しない程度の間隔を空けてお座りいただきます。
○研修の合間に必要に応じて窓を開放する等による自然換気をいたします。
○マスクの着用は個人の判断に委ねることいたします。（当センターでマスクのご用意
はありません。）
○研修会等の受講を希望される方へ
・受講当日、下記のいずれかに該当する方は研修会等の受講をご遠慮いただきます。
1 感染症に罹患している方
2 発熱、倦怠感、咳等の症状があり、体調がすぐれない方
・受講にあたっては、感染症防止対策にご協力願います。
・研修会等の開催会場では、窓を開放する等し、必要に応じて自然換気を行います。
このため、場合によっては冷房・暖房効果が損なわれる事がありますので、暑さ・寒さ
対策をお願いいたします。
・会場内における食事は原則禁止ですが、熱中症予防等のための水分補給は、適宜行って
いただいて結構です。ただし、飛沫には十分ご配慮ください。
○欠席または研修会等当日に参加をご希望の場合は、必ず事前にご連絡をお願いいたします。
○受講者数を把握のため、無断欠席や飛び込み参加はご遠慮ください。

◆当総合支援センターでは、事業場で産業保健活動に携わる産業医、産業看護職、衛生管
理者をはじめ、事業主、人事労務担当者から、メンタルヘルス対策、作業環境管理、健康
診断の事後措置等の「従業員の健康管理」や「治療と仕事の両立支援」に関するご相談に

